

すまいるネットのホームページがリニューアルしました!

ホームページは、すまいるネットの開設と同時に公開され、度重なるリニューアルを経て、10周年を迎えた今、大きくパワーアップします!



ナニが違うかということ...
たとえば

- 相談の流れをわかりやすく解説
- 業者探しのコーナーが見やすい!
- 初めての来所でも安心!
地図が見やすく印刷もしやすい!
- 各種補助制度の申請方法がわかりやすい!

...など

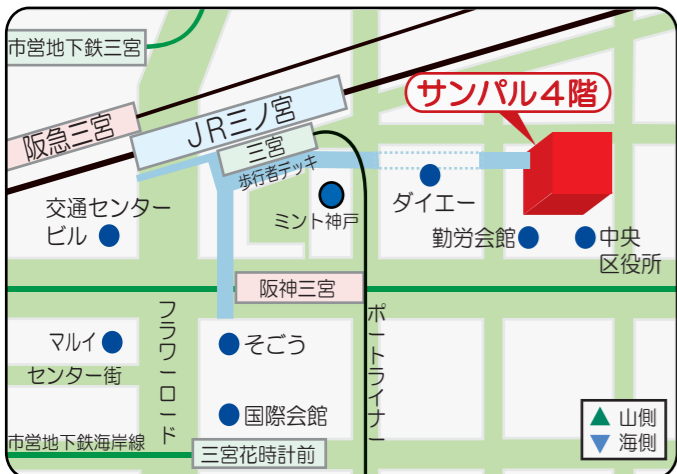
すまいるネット 神戸 検索 で、皆さんも是非ご覧下さい。

第2回 センター長のつぶやき

老後は子供に迷惑をかけたくないということか、今、高齢者住宅が注目されている。◆高齢者住宅は、自立型か介護型か、また費用の多寡により種類が多くあって分かりづらい。その中で、賃料の手頃さと必要に応じて介護が受けられる安心感から高齢者専用賃貸住宅（高専賃）が増加中だ。◆先日見学した72戸の高専賃はほぼ満杯で、「手も引つ張らない、足も引つ張らない」という“程よいお世話”が運営方針。多くのサークルがあり、「左利きの会」も。老いが進めば併設の小規模多機能型居宅介護が利用できる。◆入居資格は60歳以上。団塊の世代諸氏、そろそろ「分かりづらい」とばかり言っておられないですぞ。

すまいるネット

神戸市すまいるの安心支援センター
土・日・祝日も営業（水曜日定休）
営業時間 / 午前10時～午後5時
三宮駅から徒歩5分「サンバル」4階



オキール劇場

阪神・淡路大震災の教訓

神戸市すまいるの安心支援センター
すまいるネット
営業時間 10:00～17:00 土・日・祝も営業（水曜日定休）
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル4階
（JR三宮駅東へ徒歩5分）
TEL:(078)222-0186

すまいるネット通信

すまいるネット 神戸 検索

発行 / 神戸市すまいるの安心支援センター
〒651-0096 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル4階
電話 (078)222-0186 FAX (078)222-0106

vol.19
2010
Winter

すまいるネットとは?

すまいるの安心支援センターの愛称です。
神戸市の外郭団体で、すまいるの相談、耐震診断や工事補助金の受け付けをしているところです。一戸建て・マンション・高齢者住み替え相談・業者選びのお手伝いなど、すまいるのことなら何でもどうぞ!



駒ヶ林地区のまち歩き
～漁村の「向こう三軒両隣」的雰囲気を残す路地を歩く～
11月20日(土) 鉄人広場にて

いよいよ冬本番! 寒い冬を快適に過ごすための豆知識

今年もいよいよ終盤にせまり、寒さは日に日に厳しくなってきました。
朝布団から出るのが怖い...暖房機器フル稼働で電気代が怖い...
そんな皆さん必見! 厳しい冬を乗り切るためのちょっとした豆知識をお教えします!

窓は厚手のカーテンを!

外気に冷やされたガラスはコールドドラフトを発生させ、部屋全体を冷やしてしまいます。厚手のカーテンでシャットアウトしましょう! 大きな窓は、しっかり床まで覆える長めのカーテンがおすすめ。また、窓側にファンヒーターなどの暖房器具を配置することで軽減することもできます。カーテンボックス、二重サッシなど取り付ければなおGOODです!

コールドドラフトとは?

外気で冷えた窓ガラスを通じて室内の窓側の空気が冷やされ、冷たい空気は暖かい空気よりも重いので下降気流を発生し、壁面を下降した冷たい空気は床表面をゆっくり移動し足元を冷やします。この気流をコールドドラフトといいます。



足元からの冷えは万病のもと!

フローリングなどの硬質な床材は床下からの冷気を伝えやすく、足元への冷気は体感温度を下げてしまいます。カーペットを敷くなどして、床からの冷気を遮断しましょう。重ね敷きや市販の保温シートを下に敷くことで一層効果を発揮します。床を暖めるだけでなく輻射熱を利用して部屋全体をあたためる床暖房はおすすめ!

適度な湿度を保ちましょう!

乾燥した空気は鼻や喉の粘膜を傷つけて風邪などのウイルスに侵されやすくします。湿度30%以下はウイルスにとって絶好の環境ですのでなお注意です。部屋の中の湿度は濡れたタオルを吊るしたり、洗面器に水を張って置くなどして50～60%に保ちましょう。逆に湿度が高すぎると結露してカビの原因になるだけでなくダニも活発になります。ガスファンヒーターなども水蒸気を発生し、空気も汚してしまいますので、適度に換気をしましょう。自動で調節してくれる加湿器があると便利です。



ちょっとした工夫で快適な「すまいる」は実現します! 皆さんも実践して、この冬を快適に過ごしましょう!

豊かな住まい、住まいの楽しさを再発見!

セミナー

5F HDCスタジオ

セミナー① 「住教育について語ろう」

神戸芸術工科大学 教授 鈴木明氏、兵庫県建築士会 八木景子氏
近畿建築士会協議会青年部会 桑原宏明氏、プラス・アーツ 永田宏和氏

「衣・食・住」の中で、学ぶ機会が少ない「住教育」。自身の大切な住まいのことも次世代の子どもたちに伝えていきたい。震災を契機にした「安全で安心なすまい」、自分で考えて作る「ユメイエ」、ダンボールやお菓子などでの「家・まちづくり体験」...当日、地下で子ども向けワークショップを実施した各団体の発表・情報交換の場となりました。各地で様々な取り組みを展開する建築士たちの思いが今回のワークショップで出会って繋がり、更なる連携・展開を期待させられました。



セミナー② 講演「きもちのいい家」 建築家 手塚貴晴氏

緩やかな勾配屋根の上で家族が楽しむ「屋根の家」、子供達が走り回る1周200mの楕円形の屋上がある「幼稚園」...夫は青シャツ、妻は赤シャツの建築家夫妻の作品の数々...最後には笑顔のご家族の写真。大人も子どもも、お日様や風、緑、自然と共にのびのびと過ごせる「気持ちのいい空間」は、家族や人との関係も心地よくなる。ユーモアたっぷり、身振り手振りで熱く語る手塚氏に、会場の皆さんはすっかり魅了されていました。



セミナー③ 「あなたの想い、伝わっていますか?」 ~ 住まいの相談事例から考える ~

(司会) 神戸芸術工科大学 教授 鈴木明氏
コミュニケーション・サポーター 横山由紀子氏
+すまいるネット すまいの相談員 (建築士・消費生活・融資)

ちょっとした気遣いが相手の心を開き、人と人とのつながりを深めていく...身近な事例から「コミュニケーションの重要性」を再認識。横山氏の「あいさつの大切さ・ポイント」が心に浸みて「普段の生活を見直そう!」と思い、相談員の様々なトラブル事例を聞いて「困った時には早めに相談しよう!」と思った方も多かったようです。



すまいの相談会

5F HDCギャラリー

普段はサンパル4階でご相談を受けていますが、イベント当日はすまいるネットを閉館し、HDC神戸5階に場所をかえて皆さんの相談を受付しました。建築士・消費者相談・ファイナンシャルプランナーといった「すまいの相談員」を始め、住宅金融支援機構・兵庫県マンション管理士会の方々の相談業務を行いました。また、すまいるネットや各団体のパネルを設置し、業務・活動の紹介をしました。



大人も子どももみんな

家をつくろう! 家を学ぼう!

B1F ステーション広場



地下ステーション広場では、大人も子どももみんなでお楽しみイベントを開催しました。すまいは、私たちにとってとても身近で、なくてはならないものです。将来の住まいの担い手となっていく子どもたちへ、住まうとはどういう意味を持っているのかを考えさせ、豊かな暮らしを実現していくために生きる力をつけさせることが必要だと思います。ここでは、子どもたちにすまいの大切さや、すまいの楽しさを伝えるため、普段から各地域で活動を行っている団体と協力し、実施しました。

—入門講座「1. 家の構造について学ぼう!」—

地震がきても、あなたのお家は大丈夫? 建物には地震に備えて、いろいろな工夫がされています。その仕組みを、牛乳パックを輪切りにしたものを壁に見立てて考えました。何も補強されていない壁は、地震がきたらペシャンコになってしまいます。そうならないために、この壁を補強してみよう! みんなたくさんのアイデアで壁を強くしていきます。カッコいいデザインで、強い壁やマンションが次々にでき上がりました。建築士さんが、実際にどんな補強が使われているかの説明や、地震から身を守るための家具の固定や家具の配置の工夫についても説明しました。



—入門講座「2. イメージをふくらませよう」—

世界には、びっくりするようなお家がいっぱい! うさこことピエールが旅をしてきた世界のお家を紙芝居で紹介。くつや虫、UFOのような形をしたお家や、海に浮かぶお家。家は、四角い建物だけではないんだね。たのしいイメージが膨らんできたかな?



—体験プログラム「3. 大きな家・小さな家をつくってみよう」—

みんなは、どんなお家に住んでみたい? 自分の理想のお家をつくってみよう。まずは、住んでみたいお家を絵にしてみました。お花やハートのついた家や、お城のようなお家など、楽しいユメの家を描いてくれました。では、実際にこの家を作ってみよう! スチレンペーパーをつかった小さいお家や、段ボールをつかった大きなお家を作ってもらいました。みんな小さな大工さんになって、一生懸命にお家を建てていきます。そして、世界でひとつだけの自分のお家が出来上がりました!

